



サポートセンター通信

第50号

発行元：松本市民活動サポートセンター
〒390-0874 松本市大手 3-8-13
松本市役所大手事務所 2階
TEL/FAX：0263-88-2988
E-mail：support-center@support-center.jp
URL：http://www.support-center.jp

プラチナフォーラムが開催されました！

プラチナ世代の皆さんが新たな生きがいつくり、仲間づくりへの第一歩を踏み出すきっかけとして実行委員会主催「プラチナフォーラム」が2月22日（土）に開催され、約120名の参加がありました。

基調講演では、NPO 法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ（ナルク）会長の高畑敬一氏を講師に「60歳からの人生がその人の真価を決める」という演題でご講演いただきました。退職後、人生について考えていた時「定年後の生き方がその人の真価を決める。故に現役時代の3～5倍の緊張感を持って生きるべし」という言葉に感銘を受け、これからの人生を他人様や社会のために尽くそうと決意され、社会的課題となっていた高齢者介護に着目し、高齢者・障がい者・子育てなどのボラン



(↑)高畑先生の講演の様子

ティア支援活動を始められたとのことでした。また、共生と連帯の精神を持ち、自分が生きている社会や地域のために余裕のできた時間を活かし活動していく、そのことが人とし

ての本当の真価を決めると語られました。豊富な経験とともに84歳という年齢を感じさせない熱弁に参加者からは「これからの人生の指針になった」という声が聞かれました。

その後の事例発表交流会では、昨年度のプラチナフォーラムをきっかけに設立されたプラチナ世代の社会貢献を支援する「プラチナサポーターズ松本」が活動紹介を寸劇で行い、参加者の笑いや共感を得ながら、活動への第一歩を踏み出す刺激を与えていました。



(↑)交流会の様子

ワークショップでは各テーブルで「私の第一歩」をテーマに話し合い、参加者の活動経験の話や今後やってみたい活動内容など、様々な思いや考えが活発に出されていました。アンケートでも90%の方が「社会貢献に対する意識が高まった」という回答をいただき、プラチナ世代の更なる活躍を実感できるフォーラムとなりました。

<スキルアップ講座> 助成金獲得セミナーが開催されました！

「今でしょ！活動資金再考～助成元からのアドバイス～」と題した助成金獲得セミナーは、当初予定していた2月15日が大雪のため、3月8日に延期して開催されました。

「団体が助成金を獲得できない7つの理由」という、テーマとは逆説的な問い掛けで始まった前半の講義では、講師の荻上健太郎氏（日本財団）は、助成機関で数多くの申請書を審査した経験から「目的と課題の把握ができていない」「自分たちの思いのみが先行している」ことを指摘し、「助成金は課題解決のための投資であり、助成側はパートナーを求めている」とし、相手（助成側）の気持ちになって計画し申請書を作成することを勧めました。つづく、後半のワークショップでは、グループに分かれて模擬審査会を体験してみました。それぞれの事業計画をワークシートに落とし込んで申請書を仮作成。それを他のメンバーが読んで一巡すると、書類審査の立場も経験できる仕組みで、申請す

る側と審査する側の両方を体験できました。「相手の立場に立って考えることの重要性」「企画を伝えることの難しさ」を身をもって感じることができました。

参加者アンケートから「助成金を通して事業に対する見方を学べたので、今後自分たちの活動を考えていく上でとても勉強になりました。」「助成金獲得以外にも、日頃の活動をきちんと丁寧に行う事が大切だと思いました。」とあるように、この講座は単に助成金の獲得に留まらず、組織マネジメント全般に渡るお話で、新年度活動計画の前の“締め直し”、活動の振り返りの機会となりました。



(↑)ワークショップの様子

サポートセンター通信は、平成 17 年 12 月に創刊号が発行されて以来、皆さまに支えられながら隔月発行を続け、今回第 50 号を発行する運びとなりました。

今回はその記念企画として、登録団体紹介コーナー『Close Up!』の掲載が始まった第 2 号から第 5 号でご紹介した団体にインタビューし、この 8 年間の活動とサポセン通信を共に振り返ってもらいました。さらに、これからの活動に寄せる想い、また、今後のサポートセンター通信へのご意見、期待なども寄せていただきました。

<共通の質問項目>

当初の活動からの変化

これからの活動について

③ サポートセンター通信について

1-サポセン通信をどのように活用していますか?

2-貴団体の広報に活用しているツールは?

3-これからのサポセン通信に期待することは?



NPO法人 コミュニティシネマ 松本CINEMAセレクト



Tel : 0263-98-4928 E-mail : c_cinema04@hotmail.com
URL : <http://www.cinema-select.com/>

①街中から映画館が消え、公共施設等での上映会を開催している。多様なセクションで広い世代に認知されつつあるが、特定の場所を持たないため、観たい人へ情報を届けることが難しい。

②現在映画の将来を危惧する意識も低くなり、自主上映を行う団体は稀有な存在になってしまったが、これからも活動を続け、映画ファンを増やしたいという思いは変わらない。

③1-他団体の活動 (Close Up!等) をチェック…上映する映画に関連したテーマに取り組む団体を常に探している。昨年は、被災犬を題材にした映画の上映の企画で、Close Up! でゆめまる HAPPY 隊の活動を知り、上映協力をお願いした。連携することで、その団体の会員など作品のテーマに関心を持つ層に向けた宣伝が期待できる。

2-Twitter での情報発信、会員向けに DM を送付するほか、メルマガは情報案内・問い合わせに対応している。

3-公共施設だけでなく、不特定多数の人の目に触れる民間の施設にも設置して見てほしい。

NPO法人 アルプス善意通訳協会



Tel : 0263-47-3454 E-mail : npoalsa@gmail.com
URL : <http://npo-alsa.com/>

①設立以来すべて会費で運営してきたが、昨年初めて日本観光振興協会の助成金を申請した。自己資金での運営を基本にしながら、常に歴史的知識と語学力のふたつの研鑽を積むことで実力アップを図っている。

②近年は世界的都市だけでなく松本などの地方都市を訪れる観光客が増えているので、より一層、松本に親しんでいただくため、正確で親切なガイドに「おもてなし」の心を付け加えたい。「相手に笑顔になってもらうことで自分も笑顔になる」という活動の軸の部分は全くぶれていない。

③1-サポセン事業の予告・報告、助成金情報のチェック

2-日常的な情報発信はホームページ、講演会や説明会など一般向けイベントの告知は新聞や広報を活用している。会員及び関係者向けには『ALSA 便り』を発行している。

3-サポセン通信に掲載される助成金情報については、締切日までに余裕を持った情報の掲載をお願いしたい。

NPO法人 ライフデザインセンター



Tel : 0263-46-2020 E-mail : life_m@mhl.janis.or.jp
URL : <http://www.dia.janis.or.jp/~life/>

①「その人らしさを支える」という大きな活動テーマから、後見制度を利用した支援活動にしばらくこまれてきた。終末医療等の重いテーマに、笑いヨガなどの生きる楽しみにつながることも取り入れている。さらに、会員増加にともない横のつながりを築くため、昨年からは会員交流会『いこいサロン』も始めた。

②他ではやっていない、ライフデザインセンターでしかできないような活動をしたい。サポセン事業での登録団体との交流を機に、さらに地域の団体とのつながりも考えている。

③1-サポセン事業の予告・報告、他団体の活動 (Close Up!等) をチェックしている。

2-一般向けのお知らせには新聞を利用し、会員向けには情報誌『My らいふ』を発行している。

3-Close Up!を読む度に、新しく誕生した団体がこれからは情熱を持って活動を続けてほしいと思う。そのためにも、活動事例など活動のヒントが得られるような記事を期待している。

NPO法人 信州まつもと 山岳ガイド協会やまたみ



Tel : 0263-34-1543 E-mail : info@yamatami.com
URL : <http://yamatami.com/>

- ①山登りのジャンルが多様化し、登山を始める若い世代も増加した。同時にファッション重視や登山のルールやマナーを知らずに始める人も増えた傾向がある。身近な山を楽しみながら基本的マナーや山の文化、自然のこと等を伝えている。
- ②認定 NPO を目指す。登山ガイドの団体ではあるが、山の管理、自然体験、人と山との関わり方等、環境教育にも取り組んでいきたい。
- ③1-サポセン事業の予告・報告をチェック…NPO 運営や会計についてのセミナーに参加しノウハウを学べた。また『ぼくらの学校』では他団体との交流もあった。
2-ホームページ、facebook、新聞等をイベント告知に利用している。
3- 活動する人をクローズアップした「支えるシリーズ」という企画を復活させてほしい。サポセン通信とは別に、メールマガジンがあったらよいのではないかな。

NPO法人 ケ・セラ



Tel : 0263-57-6329 E-mail : music@npo-que-sera.org
URL : <http://ameblo.jp/npoquesera/>

- ①「音楽を仕事にする」という活動の方向性や内容は変わらないが、技術上達により音楽の質が高まり演奏依頼なども増え、活動が充実してきている。児童デイやショートステイ、また平成 24 年にはケ・セラ社会福祉事務所を設立し、障害者相談支援、高齢者居宅介護支援等、活動の幅も広がった。
- ②障がい者の音楽活動の更なる質の向上、及びプロ（音楽を仕事にする）を目指す集団としての自覚を育てながら演奏依頼の拡大を目指す。一方で、演奏技術の向上が新たなメンバーを増やせない原因にもなっている。障がい者が音楽活動を仕事にすることへの理解を広めていくことが今後の課題。
- ③1-他団体の活動（Close Up!等）をチェックしている。
2-HP やブログから演奏依頼を受け付けている。新聞では演奏会の告知や報告を行っている。
3-イベント情報はよく目を通しているが、団体のイベント情報が増えると充実するのでは。

NPO法人 信州ツキノワグマ研究会



Tel : 0263-36-1884 E-mail : sbear884@ybb.ne.jp
URL : <http://www.shinshukumaken.com>

- ①クマが多く生息する地域においてもトラブルが起きないよう、駆除だけにたよらない科学的根拠に基づいた対処方法を講じるべきという当初の方針は変わらない。近年のクマの動向には市街地への頻繁な出没など変化がみられるため、住民への正しい対処方法などの普及啓発活動も重視している。
- ②住民への啓発活動や小中学校での「クマ授業」なども行っているが、人材不足が活動に制限を与えている。さらに現場での調査研究活動等にも従事できるスタッフの確保も緊急の課題である。
- ③1-サポセン事業の予告・報告、他団体の活動（Close Up!等）をチェック。創刊よりファイルして保存。
2-ツキノワグマ通信を発行。facebook の利用も少しずつ始まっている。
3-Close Up!で自然環境系の活動が取り上げられることが少なくさびしい。団体が繋がれるよう万遍なく分野を取り上げ、団体のコラボネタなどもおもしろいのでは。

ケア集団ハートビート

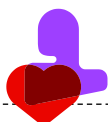


Tel : 090-1865-5700 E-mail : amans@po.mcci.or.jp
URL : <http://blog.goo.ne.jp/carehattobi>

- ①「生老病死」のトータルケアについて学ぶ場の創出、ホスピスケア・ターミナルケアについての学習会、健康増進に向けて学び実践する企画・立案・運営など、3つの活動に加え、死別ケアの学習会、グリーフ（愛する人を亡くした時の大きな悲しみ）ケアのためのワールドカフェ活動が加わった。
- ②「大切な人を亡くしたときの手引・中信地方版」を作成予定。また、死別者支援のためのネットワーク作りや行政への働きかけも行っていきたい。さらに今後は団体のホームページを作成し活動を広めたい。
- ③1-助成金情報をチェックしている。
2-新聞、facebook を活用している。
3-団体が開催する勉強会や展示、イベント等を取材し通信に掲載してほしい。また、登録団体やサポートセンターがリアルタイムで交流できる SNS を使った広報を取り入れたらどうか。

あれから8年。活動を取り巻く状況の変化への対応や、それぞれの活動に合った広報手段とその使い分けなど、団体を運営し活動を継続する上で参考になる様々な工夫を知ることができたインタビューとなりました。また、サポートセンターでは助成金セミナーや facebook 講座など活動をサポートする各種講座、助成金情報などの最新情報をホームページ <http://www.support-center.jp/> にて、随時更新しております。登録団体からの情報も発信しておりますので、HP やサポセン通信に掲載したいイベント情報・募集情報等ありましたらどしどしお寄せください。皆様の情報を共に発信してまいります。貴重なご意見はこれからの発行に活かし、皆さまの活動に役立てていただけるようさらに内容を充実させていきますので、今後もサポセン通信にご期待ください！

(取材：わが、うみぐち、つかはら、さとう)



イベント・募集情報をお寄せください。

サポートセンター通信やホームページで、皆さんのイベント情報や募集情報などをご紹介します。

ケア集団ハートビート Cocco カフェ@ワールドカフェキス

『大切な人を亡くしたときの手引～長野県中信地方版～』の紹介、また「手引に関するご意見」「死別の悲しみに寄り添うために」などのテーマについて、小グループに分かれてワールドカフェを行います。

- ◆日時：4月12日(土) 10:00～16:00
- ◆参加費：1000円(昼食あり)/500円(昼食なし)
- ◆会場：薬王東昌寺(※駐車場なし)
- ◆問合せ：<http://kokucheese.com/event/index/159580>
E-mail:hbshinshu@gmail.com

アンダンテ 松本地域精神障害者仲間の集い

病気の症状の前では私たちは無力です。しかし私たちは同じような悩みを分かち合う仲間がいます。心に困難を抱えた方のピア(仲間)の集いの場です。

- ◆日時：毎月第1、第3日曜日 13:00～15:00
- ◆会場：あがたの森文化会館
- ◆問合せ：090-9664-2317(小澤) ※21:00まで
- ◆URL：<http://www.geocities.jp/andanteshinshu/>

上高地線応援隊 メンバー募集



地域住民・松本電鉄の社員さん・学生など多様なメンバーで、地域のえんがわ作りに加え、上高地線の活性化や存続、公共交通を考えます。

- ◆問合せ：上高地線応援隊 TEL:090-3800-1285(山口)
- ※サポートセンター内レターケースに設置しているメンバー登録用紙に記入していただいても登録できます。

松本のまちづくりを考える女の101人会議

<会員募集>

松本市のより良い景観や環境づくりを目指し、学習や提言活動を続けています。駅前花植えやアレチウリ除去などを行いながら、現在はカタクラ再開発について取り組んでいます。問合せは下記連絡先へ。

<講演会のおしらせ>

講師に都市計画家・倉澤 聡氏を迎え、カタクラ再開発・松本城外堀復元・次世代交通など、市街地の松本らしいまちづくりを考える講演会を開催します。

- ◆日時：4月26日(土) 15:00～16:30
- ◆会場：Mウィング 3F ネットワーク室
- ◆参加費：無料
- ◆申込み：松本のまちづくりを考える女の101人会議
TEL/FAX:25-2168(南雲)



松本市子育てコミュニティサイトプロジェクト

<会員募集>

市民記者として情報発信してくださる方を募集しています。(無料)

<バナー掲載募集>

私達と共に子育てを応援してくださる企業・団体のバナー広告の掲載をお考えの方は「はぐまつ」をご覧ください。(月額3,000円)

- ◆問合せ：松本市子育てコミュニティサイトプロジェクト
E-mail: jimukyoku@hug-matsu.jp
- ◆URL：<http://www.hug-matsu.jp/>

～登録団体のみなさまへ「情報更新」のお願い～

新年度にあたり、登録団体の皆様に登録情報の更新をお願いしています。代表者や住所、担当者、連絡先など変更事項がある場合はサポートセンターまでお知らせください。
FAX、郵送でも受け付けています。

NEW!

団体専用レターケースに加え、 団体専用ロッカーを新設します！

団体活動PRや団体間連絡等にご利用いただけるレターケース(無料)の申し込みを開始します。今年度使用されている団体も、引き続き使用を希望される場合は再度申し込みが必要です。また、平成26年度から団体専用ロッカーを新たに設置します。

- ・サイズ…W225×D345×H35mm、ダイヤル式ロック
 - ・利用料…1,080円(年額)
- レターケース、ロッカーともに平成26年3月24日(月)から受付開始。ぜひご利用ください！

編集後記

サポートセンター通信は、このたび第50号の発行を迎えることができました。これからも皆さまの日頃の活動をサポートするため、より良い機関紙を目指し、努めてまいります。(なかがわ)

